



## これからの子ども達の 学びのために

兵庫県市町村教育委員会連合会  
会長 深田 俊郎

あけましておめでとうございます。

新型コロナウイルス第8波感染拡大が危ぶまれています。2学期は学校行事が少しずつ戻り、コロナ禍前のような児童生徒の明るい笑顔が増えたように思います。

連合会では昨年11月、新任教育委員研修会を開催し、兵庫教育大学川上教授から新任教育委員としての考え方やあり方をお話いただき、参加者からは高い評価をいただきました。

さてこの間、文部科学省から「特定分野に特異な才能のある児童生徒に対する学校における指導・支援の在り方等について」の施策説明や小中学校通常学級の在籍者のうち、発達障害の可能性のある児童生徒が8.8%いるという発表がありました。これらの事柄の根底には、学校に対して多様な子ども達一人ひとりに対してしっかり目配り気配りを行い、それぞれに合った個別最適な学びと協働的な学びの環境づくりと支援を充実して欲しいとの思いが感じられます。

しかし、コロナ禍で浮かび上がった学校教職員の業務の多忙さを考え重ねると、子ども達への配慮のためにはこれまで以上にマンパワーが必要になることが想定されます。今後、国からのマンパワー支援が期待できない場合は、各市町での独自の予算確保が必要になってくるのではとの強い危機感を持っております。

連合会といたしましても、県教育委員会と連携しながら各市町教育委員会の皆様の研鑽、情報共有等がさらに進むように活動し、これから始まるウィズコロナ時代に向け、子ども達が元気に学べる環境づくりを心掛けることを申し上げ年頭のご挨拶といたします。

(丹波市教育委員会 教育長職務代理者)